

避難所で求められる自助・共助の精神

防災リーダー養成研修会

7/9、8/27

各区の区長、自主防災会、女性消防クラブ員などを対象に、幸田町中央公民館で防災リーダー養成研修会を2日間実施しました。

1日目は災害時に利用するMCA無線機の講習と名古屋大学減災連携研究センターの^{あら}新井伸夫特任教授を講師に招き、「地域の備えを避難所運営の視点から考える」をテーマに講演会を開催しました。2日目は防災リスクコンサルティング事業を行っている日本ミクニヤ株式会社の^{うえの}上園智美氏を講師に招き、HUG訓練（避難所模擬体験）を実施しました。

過去の被災地での経験から、大規模災害が発生した場合には各地区の避難所での自助・共助による運営が求められる状況が発生することが想定されるため、実際に避難所でどのような問題が発生するのか、それを避難者同士でどのように解決していくのかについて、講師から出される課題を参加者同士で議論しながら避難所運営の実践的な訓練を行いました。



①MCA無線機の講習を受ける参加者

②新井伸夫特任教授による講話

③日本ミクニヤ株式会社の上園智美氏

④HUG訓練（避難所模擬体験）

幸田対決を制し、頂点に輝く！

西尾市子ども会ソフトボール親善大会優勝報告

8/29

第51回幸田町子ども会ソフトボール大会で3位となった坂崎子ども会Aチームが、第7回西尾市子ども会ソフトボール親善大会に出場し、見事優勝を果たし、その報告に役場を訪れました。全体では11チーム参加し、幸田町からは3チーム出場しました。決勝の相手チームは、なんと同じ幸田町の豊城南部子ども会。5対4と接戦を制し競り勝ちました。監督は「子どもたちに金メダルを取らせたいと思っていたので、それが実現してうれしい」と語っていました。



▲坂崎子ども会Aチーム

身近な情報を広報へ

大震災に備えての実践訓練

幸田町総合防災訓練

9/2

行政機関、自主防災会、ボランティア団体および民間企業など52機関、約600人が参加して幸田町総合防災訓練を防災広場で実施しました。東海地域で発生が懸念されている東海地震を始めとする南海トラフ巨大地震を想定して実践的な訓練を行いました。

自衛隊、警察、消防が連携しての救出・救助訓練やボランティアの受け入れ態勢を整えるための幸田町社会福祉協議会、ボランティア連絡協議会、防災ボランティア幸田によるボランティア支援本部設置訓練、被災により配水管が破裂した場合を想定した飲料水給水訓練を始めとした各種団体や民間企業による復旧訓練、そして、今回、初参加となる愛知災害救助犬協会から派遣された災害救助犬による検索訓練などを実施しました。

参加した各機関がそれぞれの立場で災害への備えを実施しています。各個人においても家庭での非常食の準備や自宅の家具固定など、自分たちができる備えをしておくことが大切です。ぜひ、ご家族で災害に備えて今できること、必要なことを考えてみませんか。



①自衛隊、警察、消防による救出・救助訓練
③災害救助犬とハンドラーによる検索訓練

②ボランティア支援本部設置訓練
④飲料水給水訓練

自然を愛する心を育む活動

大草の美しい自然環境を守る会 コイの放流

9/5

「大草の美しい自然環境を守る会」が幸田小学校にニシキゴイをプレゼントし、中庭にあるひょうたん池に環境委員会と一緒に放流をしました。児童たちが、生き物を育てることで自然に親しみ、自然環境を大切にしたい気持ちや思いから今回の活動を実施。児童たちは放流するニシキゴイを袋に入れて渡してもらい、一人一匹ずつ放流しました。



▲一人一匹ずつ渡されたニシキゴイ

▲「大きく育ててね」

フォトニュース

E-mail:kikakujo@town.kota.lg.jp

FAX (63) 5139

広報直通ダイヤル(63) 5132

遊休農地をなくそう！

農地利用状況調査出発式

9/9

役場正面玄関前において、幸田町農業委員会委員と農地利用最適化推進委員出席のもと、農地利用状況調査出発式が開催されました。

式の後には、遊休農地の発生防止・解消を図るため、農地パトロールを実施しました。7月31日(月)に農地利用最適化推進委員が新設されたため、強化月間として今後の調査・活動の士気を高めることを目的として大規模に行いました。



▲出発式の様子



▲農地パトロールの様子

VRの世界はもうすぐそこまで…

あいちものづくり実践教室in南部中学校

9/13

「あいちものづくり」の魅力を生かした教育実践の一環として、南部中学校で「バーチャルリアリティの体験学習」が行われました。愛知工科大学 工学部情報メディア学科 板宮研究室の指導の下、手指の動作を反映させたVR没入体験、Mixed Realityデバイスを用いた人体実験、スマートフォンを用いたAR拡張現実と防災教育の3つの講座を開きました。



▲災害の様子をAR拡張現実で見ました



▲VRで物を掴んで投げる体験

農業に若者の力を！

駅前銀座朝市 農業物産展

9/15

幸田町を中心とした若手農家で結成されたグループ「旬果集稲」が、駅前銀座の朝市で農業物産展を開催しました。販売品目は、米、長なす、ラン、イチジク、ナシ、ブドウなど、主に幸田町内で生産された農産物です。旬果集稲代表の平岩さんは、若い農家を増やしたいという思いでグループを立ち上げました。また、お客さんは「こんなに大々なのは初めて。新しい取り組みで良い」と話してくれました。



▲旬果集稲の皆さん



▲メイドイン幸田の農産物

まちがと

身近な情報を広報へ

9月10日から16日は自殺対策週間

街頭自殺対策キャンペーン

9/15

幸田、相見、三ヶ根駅で、ゲートキーパー（町の自殺対策ボランティア）と幸田町基幹相談支援センター職員、相談支援事業所ひなた職員、西尾保健所職員、幸田町職員で、駅を利用する人へ自殺対策の街頭キャンペーンを実施しました。

街頭では、「あいちこころのほっとライン365」の電話番号が記されたウエットティッシュを配布し、駅を利用する町民に自殺予防を呼びかけました。



▲幸田町ゲートキーパーの皆さん



▲幸田駅での配布の様子

ご長寿のお祝い

敬老祝いの高齢者訪問

9/20

敬老の日にご長寿のお祝いとして、町内に住む85歳以上の1056人を対象に長寿祝いの記念品が民生委員さんのご協力で届けられました。また100歳以上の12人のうち、在宅でお過ごしの大津 準一さんと山下 滋子さんのお2人には、町長から記念品が渡されました。



▲100歳の大津準一さんご夫婦



▲100歳の山下滋子さん（右）

集え！幸田の消防団！！

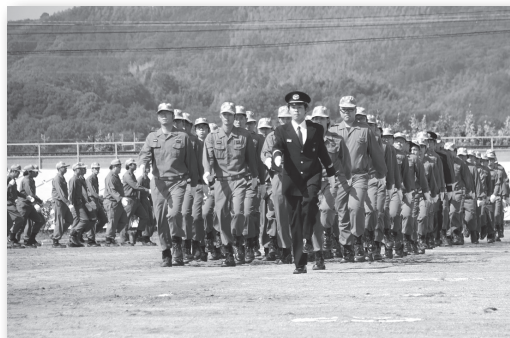
消防団観閲式

9/24

防災広場で消防団観閲式を行いました。昭和34年9月26日に伊勢湾台風が上陸した際は、消防団員が人命救助や避難誘導を行いました。その精神を忘れないようにするため、毎年9月26日前後の日曜日に開催しています。式では、町長による閲団や、中隊訓練、階梯操法また愛知県消防操法大会出場選手によるポンプ車操法などが行われ、来場者に消防団員の日頃の訓練の成果を披露できました。



▲火点めがけて放水！



▲一糸乱れぬ隊列で中隊訓練

まちがと
フォト
ニュース

E-mail:kikakujo@town.kota.lg.jp

広報直通ダイヤル(63)5132
FAX(63)5139